

## 最新鋭DLC（ダイヤモンドライクカーボン）設備開発に関するお知らせ

日本精密は、最新・高付加価値の表面処理技術である DLC（ダイヤモンドライクカーボン）の設備開発を、このたび行うこととなりましたのでお知らせいたします。

当社では顧客ニーズ・動向に対応して、これまでも様々な表面処理技術を開発し、付加価値の高い製品として顧客に提供してまいりました。近年では、独自の IP（イオンプレーティング）処理技術を開発することにより、従来市場にはなかったピアノブラック等の幅広い色調の IP 処理を可能とするなど、その技術力は顧客から高く評価され、当社製品の付加価値化に寄与しております。

今回、当社が設備開発を行う新たな表面処理技術 DLC とは、ダイヤモンドに近い特性を持つ非結晶（アモルファス）の皮膜であり、非常に硬く耐摩耗性に優れるため、各種素材の表面改質に大きな効果があるとされるものです。

その特性から、従来は自動車エンジン部品や切削加工用の工具、ハードディスクなどの表面処理に用いられてきましたが、色調等について均一な製品を製造することについて技術的に難易度が高く、外装品等にはあまり用いられることが有りませんでした。

このたび当社では、長年の研究開発と今まで培った表面処理技術・ノウハウを用いて、そうした技術的課題を克服し、腕時計バンド等の時計関連製品において DLC 表面処理を行いつつ、均一な色調・品質を維持することに成功しました。

今回開発に成功した DLC 表面処理を行った試作品を提示しましたところ、新規設備の導入により市場に無い高付加価値製品の開発が可能であること等から、当社の大型ユーザーである大手国内時計メーカーによる本設備への投資が正式に決定されました。

現在、当社では中期計画「ASEAN Project」を推進しており、中でも、基幹工場であるベトナム工場での高付加価値製品の製造とそれによる収益性の向上が、ASEAN Project の大きな戦略・テーマの 1 つとなっております。

このたびの DLC 表面処理を行った製品開発の成功と大手国内時計メーカーの本設備への投資決定は、今後、当社が高付加価値製品の開発・提供していくに当たっての大きな一歩であるとともに、ASEAN Project の成功に繋がるものと確信いたしております。

### (DLC 設備開発の効果)

新規改良設備の導入により、耐摩耗性の向上による商品の訴求力が得られます。

高級無垢バンド等の更なる付加価値と一貫生産による大幅な工期短縮になります。

当社オリジナルの設計で設備を製造しており、今後の新色等の要請にも積極的にお応えできます。